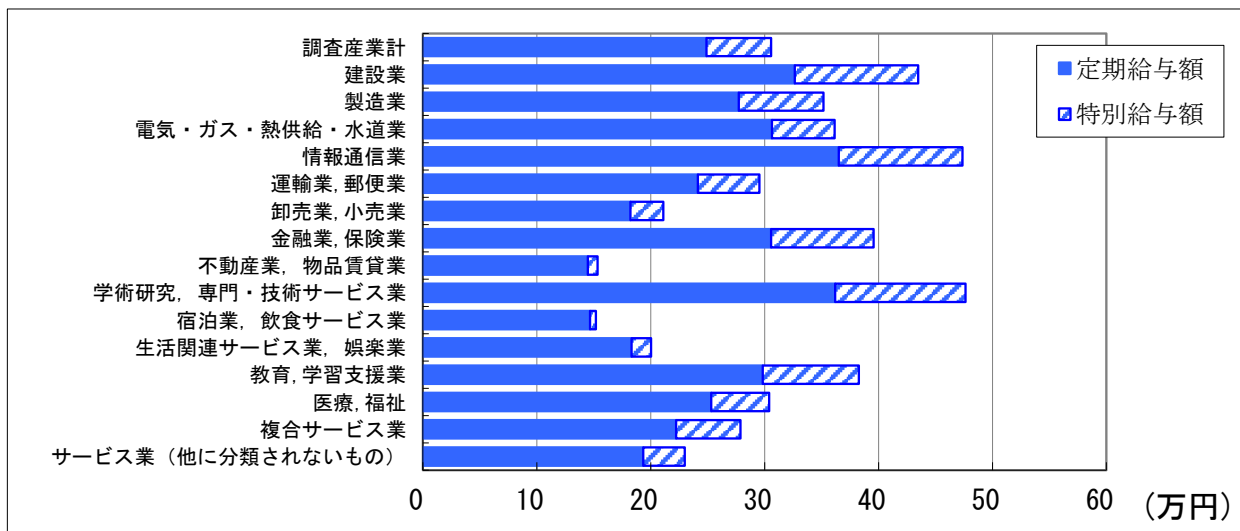


労働諸条件の概況

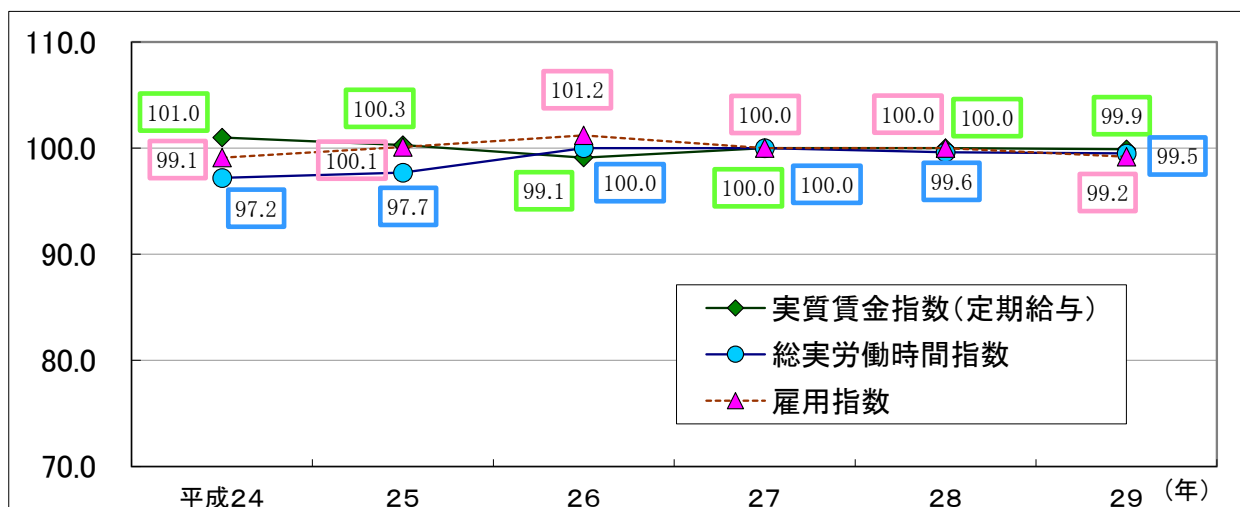
現金給与総額の産業別比較 (平成29年平均月額)

30人以上



注「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」は秘匿のため掲載していない。

指数の推移 (調査産業計・平成27年=100)



1 賃金

平成29年の一人平均月間現金給与総額は、調査産業計で305,610円となり、前年比は名目0.5%の増、実質は前年と同水準であった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は248,937円で、前年比は名目0.4%の増、実質は0.1%の減であった。

2 労働時間及び出勤日数

平成29年の一人平均月間総実労働時間は、調査産業計で157.6時間となり、前年比は0.1%の減であった。このうち所定内労働時間は144.9時間で前年比は0.3%の減で、所定外労働時間は12.7時間で前年比は2.4%の増であった。

なお、一人平均月間出勤日数は19.8日で前年比0.1日の減であった。

3 常用雇用

常用労働者の調査産業計は211,329人であり、前年比は0.9%の減であった。

注) 指数は平成27年1月及び平成30年1月の抽出替えに伴うギャップ修正後の指数により算出しており、実数値から算出される増減率とは一致しない場合がある。

(県統計課)